

文部科学省「リカレント教育エコシステム構築支援事業」
千葉大学「ケアテクノロジーの開発と実装を実現するケアテクマスター育成プログラム」
受講生追加募集要項

〔プログラム概要〕

超高齢少子社会に直面する日本では、介護ロボットをはじめとするケアテクノロジーを活用し、利用者の自律・自立を支援しつつ、介護者の負担を軽減することが喫緊の課題となっているものの、その導入率は依然として低い状況にある。本事業では、自分らしく最期まで自律・自立できることを支えるケアテクノロジーの開発および社会実装を推進できる人材「ケアテクマスター」を育成し、ケアテクノロジーを通じて生産性の向上とケアの質の向上を図るとともに、ヘルスケア産業を含むケアテクノロジー産業全体の成長を実現することを目指している。ケアテクノロジーとは、介護ロボットに限らず、人間のウェルビーイング（well-being）に貢献するあらゆる技術、ロボット、システム、アプリケーション、機器などを包含するものである。

〔プログラム到達目標〕

- ① 最先端のケアの知識を有し、ケアの観点から未来社会を描くことができる。
- ② 開発と実装に必要な共通言語、対話とコンフリクトの解決、専門職連携実践、コ・デザイン、実装戦略フレームワークの最新知識を有し、医療介護現場で持続的に利用されるケアテクノロジーの開発と実装の必要性を理解できる。
- ③ 医療介護従事者と企業人の専門職連携実践によって、開発と実装に関する事業展開を改革できる。

1. 募集人員（各科目とも定員を超える応募があった場合は、審査等で受講者を決定する。）

次の科目ごとに募集

・基盤科目1 追加募集

医療介護従事者 50 名、企業人 50 名

・基盤科目2 定員に達したため令和7年度の募集終了

・ワークショップ 定員に達したため令和7年度の募集終了

2. 応募資格

- 1) 医療介護施設・企業からの派遣であり、かつ次のいずれかの資格を有する者
 - (1) 医療施設：看護師長クラス以上
 - (2) 介護施設：副施設長クラス以上
 - (3) ケアテクノロジー開発企業：主任クラス以上、開発経験を持つ熱意のある若手
 - (4) ケアテクノロジー販売企業：主任クラス以上
- 2) その他：スタートアップ企業、ケアテクノロジー関連の研究開発者、介護生産性向上総合相談センター（都道府県設置）職員の方など(個人での応募可)

3. 応募手続き

1) 受付期間

基盤科目1のみ追加募集 令和7年10月1日（水）～令和7年10月15日（水）まで

2) 応募方法 次の URL のフォームに入力

URL： <https://app.gakken-meds.jp/cbu-re25/pre-register>

QR コード



※「千葉大学大学院看護学研究院 HP/お知らせ」、「看護学研究院附属専門職連携教育研究センターHP/お知らせ」からも応募できます。

4. 受入審査

応募フォームより各科目の受入状況及び応募資格確認等により、総合して判定します。

5. 受入結果の通知

令和7年10月24日（金）

（応募フォーム記載のメールアドレスに通知）

6. プログラム受講について

本プログラム受講を認められた者は、次の科目等を受講することができます。

なお、本プログラムでは各科目等の事前・事後及び修了1年後に簡単なアンケート調査を行います。

開催時期・回数	科目名・到達目標（予定）	時間
2025年10月～11月 オンデマンド15回 無料	追加募集 基盤科目1：ケアが目指す未来社会 1 未来社会を描くための基本知識と最先端ケアを理解できる。	全15回/ 15時間

7. 受講料

無料

8. 修了証書

- ・基盤科目1を履修した者には、千葉大学大学院看護学研究院附属専門職連携教育研究センター（IPERC）より修了証書を授与します。

9. 基盤科目1の概要紹介

■基盤科目1：ケアが目指す未来社会

追加開催時期 令和7年10月24日（金）～令和7年11月30日（日）

開催方法 オンデマンド（15回/1時間）

各回とも1時間（動画コンテンツ15分×3編、確認クイズ、ミニレポート）

単元	主な学習内容
1.未来社会の描き方&つくり方	未来社会の方向性、バックキャスト思考、エコシステム
2.未来社会を実現するビジョンのつくり方1	ビジョン形成の具体的方法と実際
3.未来社会を実現するビジョンのつくり方2	ビジョンの共有
4.日本の医療	医療制度、診療報酬、多職種の役割、入院生活
5.日本の介護	介護制度、介護報酬、多職種の役割、在宅での療養生活
6.医療介護における在宅移行	在宅移行期、家族介護、各種制度の活用、生活の変化
7.ロボット大国日本とエンジニアリングの発展	ロボット大国日本の歴史、エンジニアリングの発展
8.エンジニアリングの未来	エンジニアリングの未来社会への貢献
9.未来社会をつくる実装科学	実装科学の概論
10.ケアの革新と実装科学	実装科学に基づいた革新的ケアの実装事例
11.未来社会をつくるエコシステ	エコシステムのつくり方、ステークホルダー

12.医療介護における情報科学と未来社会	医療介護における情報の可能性、情報科学によるケアの革新
13.AI とケアテクノロジー	AI の理解、生成 AI、AI とケアテクノロジーとの関係
14.ケアテクノロジーとアントレプレナーシップ	アントレプレナーシップ、ケア領域のアントレプレナー
15.未来社会と倫理	ケアと倫理、ケアテクノロジーと倫理、日常倫理

10. 問い合わせ先

千葉大学大学院看護学研究院附属専門職連携教育研究センター（IPERC）

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

担当者：犬山 彩乃、姜 文熙、國武 由香里

責任者：諏訪 さゆり E-mail : nursing-caretech@chiba-u.jp